

前回（第1回）の審議会における意見の整理

【議題1 第4期柏市地域健康福祉計画中間見直しの方針について（案）】

	ご意見内容	計画への対応
1	市内の支援団体（活動している）から課題などをどの程度拾えているか。	各相談窓口の担当の部署が、現状や課題の把握に努めている。 市が掲げる地域共生社会の実現に向けては、地域に潜む「生きづらさ」を抱えた人などの把握は、地域の身近な活動を行っている民生委員などヒアリングを実施することを検討している。
2	今回の見直しでは、この数年間に取り組んできた評価からの課題を吸い上げるのか、又はアンケートで吸い上げるのか、どのような方法を検討しているか。	既存の取り組みにおいては、まず自己評価において課題の抽出を行う。同時に、その取り組みについての第三者評価（市民アンケート）を受け、心情及び行動変化による成果指標を確認し、必要に応じて新たな政策を検討する。

【議題2 市民アンケート項目について（案）】

	ご意見内容	計画への対応
1	18歳以上を対象としている市民アンケートを、さらに年齢を下げて行ってはどうか。若い方たちが何を考え、どう感じているのかを聞き取る必要がある。また、そのようなことを考える機会を若いうちから与えることも大切。	現アンケートについては、経年変化を図る目的もあるため現対象のまま実施。若年層へのアンケート方式についてはご意見のとおりであるので実施に向けて検討中。
2	アンケート2ページ目の「「地域」との関わりについておたずねします」について、「地域」とは何を捉えているのか。 外に出たくない人、引きこもっている人の思っている地域は、ネット上の仲間がその人の地域という場合がある。地域のとらえ方として、そういった人たちも考えないといけないと思う。 新たなコミュニティも含めて考えないと、市民が今、悩んでいることを捉えるのは難しい。その辺を少し想像しながらアンケートを考えるのも1つではないか。	現アンケートにおける「地域」とは、「お住いの場所」を中心として生活エリアを示すため、アンケート内容に注釈を挿入。（アンケートP4, P6） 新たなコミュニティ（ネットや会社など、その方が特定するコミュニティ）の視点は大変重要。昨今における行政課題を把握するための必要な視点であるが、行政が十分に認識できていないものの一つである。まずは新たなコミュニティの考え方を浸透させることと、その現状についてを把握できる方法を検討していきたい。
3	健康福祉の「健康」はどのようなものか理解していても、「福祉」とは何か分からない気がする。	現アンケートにおける「福祉」とは、介護や生活保護といった公的サービスやボランティアなど社会的援助のことを示すため、アンケート内容に注釈を挿入。（アンケートP7）
4	問22「お住まいの地域は、地域での防犯活動に取り組んでいますか」について、防犯だけでなく、防災も入れるべきではないか。	P8の問24及び25にて対応

	ご意見内容	計画への対応
5	20代、30代の人を想定した設問項目として適しているか疑問がある。もう少しいい言い回しや質問の表現の仕方を変えなければいけないのではないか。	現アンケートについては、経年変化を図る目的もあるため、前回の質問項目と同様の部分については言い回しの変更なく実施。若年層へのアンケートを別途検討する中で、表現の仕方等についても検討する。
6	地域の世代ごと、あるいは福祉計画の課題が浮き彫りになるような設問構成がよいと思う。	第4期計画では、市民アンケートにおける調査によって課題の整理を行った。今回は中間の見直しということから、課題解決に向けた取り組みが市民の心情及び行動変化につながったかどうかを確認する質問にとどめている。次期計画策定に向けて、設問構成を検討する。
7	10代、20代に対応したメール調査での実施を検討してはどうか。	委託の仕様上、今回は実施できなかった。次回アンケートではWEBでの回答が可能なのように対応する。
8	経年的な変化をみるうえで、同じ人にアンケートをとることができないか検討してはどうか。	前回までのアンケートで個人を特定していないため、今回の対応は困難。個人を特定したアンケートを実施した前例など研究する。
9	重層的支援体制整備事業について、環境や体調など様々な理由から窓口に行きにくい状態にある人や声を上げられない人がいる。このような人への支援が欠けてしまわない対応が必要。	重層的支援体制整備事業では、アウトリーチへの働きかけも重要な視点のひとつとしている。行政機関の窓口相談から始まるイメージを持つだけでなく、相談に向けて背中を押す機能を想像しながら仕組みづくりを検討したい。